

## 第 52 回全国大学保健管理研究集会に参加して

研究集会は、平成 26 年 9 月 3 日（火）・4 日（水）東京慶應義塾大学の三田キャンパスで行われました。テーマは「社会の構造変化に対応する保健管理をめざして」です。





テーマどおり講演・シンポジウムは盛りだくさん。ランチョンセミナーのお弁当も盛りだくさん！！



メイン会場は西校舎1階のホールです。いったん講演が始まると、これが座る場所がないくらい。本当です。会場係の人たちが空き席を見つけて、ひとりひとり案内していました。



講演，シンポジウムは以下の通り。

特別講演 慶應義塾常任理事/慶應義塾大学医学部整形外科学教授 戸山 芳昭先生

「長寿国日本の課題-健康寿命延伸に向けて」

招請講演 世界保健機関（WHO）事務局長補 中谷 比呂樹先生

「世界の青少年の健康とグローバルヘルスの課題」

## シンポジウム

テーマ「社会の構造変化とメンタルヘルス-青少年の心身の健康を守るために-

1.東京都立小児総合医療センター顧問 市川 宏伸先生

「発達障害と社会的話題」

2.東京女子医科大学医学部附属病院神経精神科教授 坂元 薫先生

『現代型うつ病』をめぐる混乱を斬る」

3.筑波大学保健管理センター精神科准教授 堀 孝文先生

「グローバル化と留学生のメンタルヘルス」

教育講演 1 独立行政法人国立環境研究所地域環境研究センター都市大気環境研究室主任研究員 菅田 誠治先生

「大気汚染等の大気環境の現状と見通し」

教育講演 2 独立行政法人国立国際医療研究センター国際感染症センター感染症対策専門職(看護師) 堀 成美先生

「大学生の受診・相談からみた性感染症予防・早期対応の課題」

## 時事講演

「国境なき医師団」海外派遣スタッフ・産婦人科医師 西野 るり子先生

『「国境なき医師団」海外医療援助活動に参加して」

教育講演 3 広島大学保健管理センター長・教授 吉原 正治先生

「保健管理における IT 化・現在と未来」

教育講演 4 慶應義塾大学名誉教授 南里 清一郎先生

「海外留学予定者へのオリエンテーション」

ランチョンセミナー I 慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科専任講師 目黒 周先生

「糖尿病と検査 見かた、見せかた、使いかた」

ランチョンセミナー II 奈良女子大学保健管理センター教授 高橋 裕子先生

「健やかな次世代を育てる鍵としての大学禁煙～動かない心を動かす知識とノウハウ」

ランチョンセミナー III 慶應義塾大学医学部感染制御センター准教授 長谷川 直樹先生

「IGRA の意義とその限界」

ランチョンセミナー IV 慶應義塾大学保健管理センター准教授、同病院予防医療センター 広瀬 寛先生

「生活習慣病とアディポネクチンについて」

もちろんポスターディスカッションも多くの演題が集まり、大勢の参加者が熱心に聞き、質問していました。

## ポスター会場



たくさんのスタッフの方々のおかげで快適な2日間でした。お世話になりました〜♪  
許可を得て最終日に写真を撮らせて頂きました。





初日の朝早く各地方の看護職が集まってお話をしました。みなさん笑顔が素敵ですね



構内、食堂、南校舎（新しい）など



# 懇親会





## おなじみ中四の面々



ところで、東京大学と東京農工大学に留学している学生たちが会いに来てくれました。おりしも今年5月に就任したインドのナレンドラ・モディ首相が来日中。一人はレセプションで彼と握手し、言葉を交わした後、駆けつけてくれました。3人とも同じ大学の出身で、たまたま東京で研究を行っています。フィールドワークがあるため、同じ東京でもめったに会うことはなく、とっともうれしそうでした。そうそう、私は彼らから **aunty** と呼ばれています。ま、「おばちゃん」というところでしょうね。



東京タワーをパチリ。



地下鉄浅草線三田駅を降りて、慶應義塾大学へ向かっています。





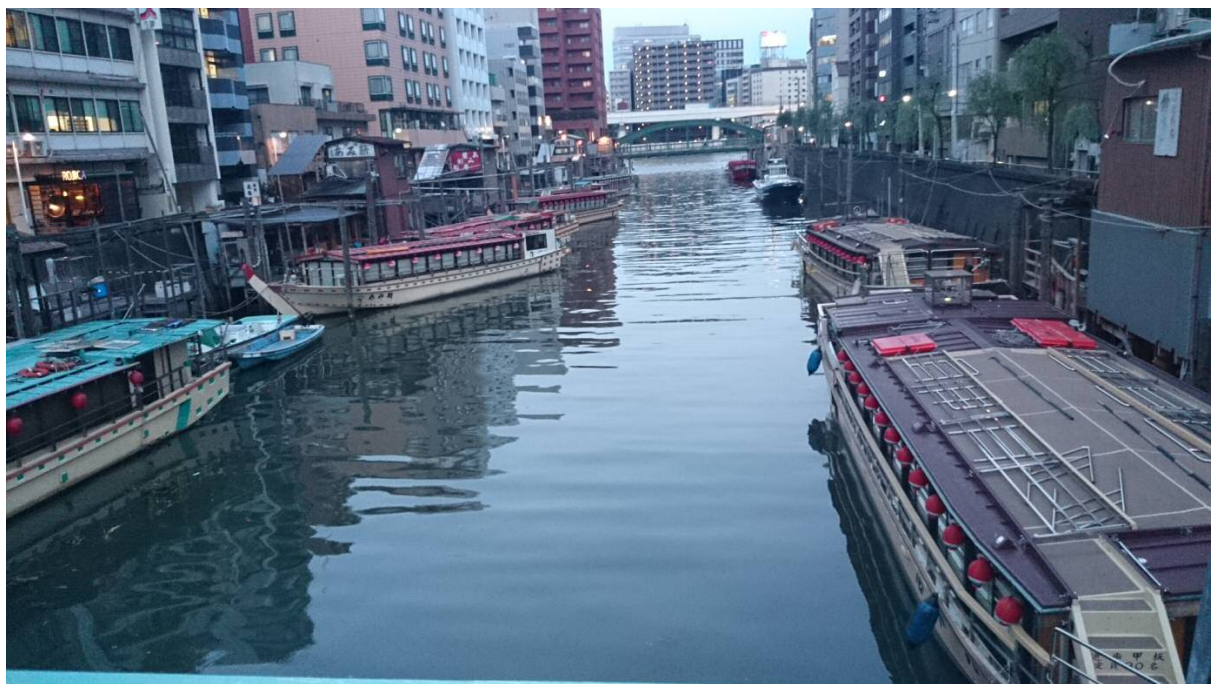
秋葉原



Ginza Hooters で (あとで友人の Peter が hooters の意味を教えてくださいました。なるほど)



浅草界隈を歩いていたら船が♪



学生時代とその後を含めておよそ 5 年間で東京を過ごしましたが、それは 40 年近くも前のこと。最近は何となく成田へ向かうことも多いので、久々の東京♪という感じでした。他の地方の看護職ともお話ができてとてもよかったですよ。来年は岩手。今から楽しみです。

愛媛大学 総合健康センター 村上 和恵